

10 立体地形図をつくろう

地形図から等高線を読み取り、その地形がどのようになっているかを知ることができる。平面の地形図を視覚的に立体的にすることで、具体的な地形の様子を簡単にイメージすることができる。また、さまざまな特徴をもつ地形を比較することで、平面の地形図の見方やその練習になる。

製作動画

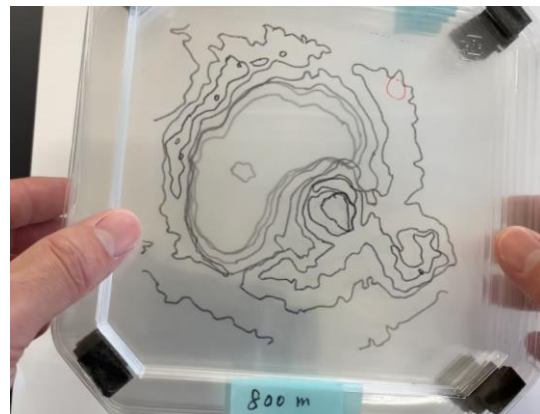
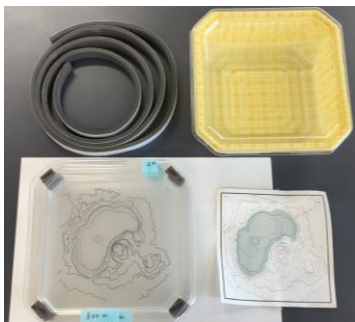
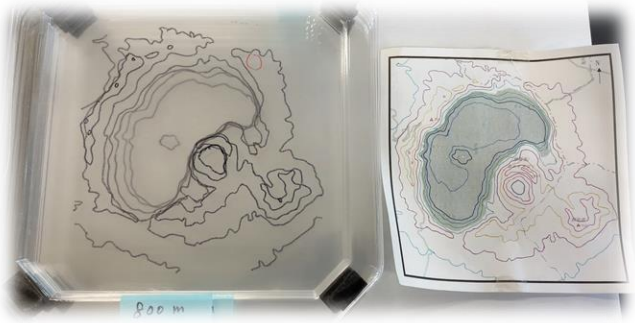


○必要な道具

容器のフタ、隙間テープ、
油性マジック、地形図

○作成方法

- 1 容器のフタに合う地形図をつくります。
地形図は国土地理院 HP からダウンロード
できます。等高線の間隔は地形に合わせ、最初は 100m などから始めてみましょう。
- 2 容器のフタの裏に、地形図を合わせ、なぞっていきます。油性のはっきりと線がわかるものが
オススメです。地形図を貼る位置がずれると、全体がずれていきますので、地形図を貼るポイ
ントなども決めておきましょう。方角も確認しておくといいです。
- 3 等高線ごとにフタを用意し、最後に重ね合わせて完成です。今回は 100m 間隔で作っています。
重ね合わせる際に、フタ同士に多少の空間が必要です。場合によっては隙間テープなどで、
フタ同士の高さを調整しましょう。



○使用方法やアレンジ方法

- 山地だけでなく、扇状地、カルデラなど、いろいろな地形で試してみましょう。
- プレートの沈み込みの様子や、海溝・火山・地震などでも重ね合わせは使用できます。